

福津の今昔

～変わる風景 変わらない風景～

久しぶりに訪れてみると懐かしさを感じるふるさとの風景。以前、田畑だった場所や電車が通った道は住宅が建ち並び、街並みや景観は大きく変わってきました。今、当たり前前にそこにある風景の写真を見ながら、その歴史を少し辿ってみましょう。



◀新浜山公園横の住宅街。交差点にある信号機には、以前は「津屋崎駅前」の標識が付いていました

▼交差点そばにある電車延長記念碑。西鉄電車が走っていたことを今に伝えています



◀現在の西鉄貝塚線が西鉄宮地岳線だったときの終着点「津屋崎駅」



大正14年7月に博多湾鉄道宮地岳線和白-宮地岳間が開業。昭和17年、西日本鉄道として新たに発足し、昭和26年7月には宮地岳から津屋崎まで延長となりました。

平成19年に廃線となり、津屋崎駅は取り壊され、現在は駅と線路の跡地に住宅が建ち並んでいます。